

平成25年度施策評価調書

整理番号	28
評価担当課	営業戦略課

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	観光開発		
総合計画の位置づけ	基本目標	4	創造力と活力にあふれたまちづくり
	主要施策	3	観光の振興

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	魅力ある地域資源を活用し、地域と住民が主体となって、交流人口拡大の視点に立ったまちづくりを行い、来訪者を受け入れて地域経済の活性化に結びつけていく。また、住民自身が地域資源の価値を理解し、磨き上げ、誇りを持つことにより、来訪者が何度も訪れたいような活力あるまちづくりを目指す。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	平成24年3月に名寄市観光振興計画を策定し、その計画に基づき「ALLなよろ」をコンセプトとした、名寄市観光振興交流協議会を設立し、ひまわり部会・交流部会・名寄ブランド部会・ホスピタリティ部会の4部会により各種事業を実施している。
施策の課題	名寄市観光振興計画に基づいた事業を実施していくためには、市民の地域資源の理解・磨き上げ・誇りに持つこと＝市民満足度を向上させることが不可欠であり、市民が参加しやすく、また、自主的に参加できるような事業計画を実施しなければならない。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H22	H23	H24	目標年度(H33年度)
観光入込客数	観光・教育施設やイベント・各種スポーツ大会・合宿誘致・全道、全国大会の誘致等による総体的な入込客数(千人)	目標値				880.7
		実績値	587.1	606.8		
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	平成24年度より名寄市観光振興計画に基づき、名寄市観光交流振興協議会をはじめとした各種事業を計画・実施している。本年度においても、昨年度の反省点を修正しつつ事業を展開、また、新たな事業を実施している。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後とも、名寄市観光振興計画を基に、名寄市観光交流振興協議会を中心とし、市民参加型の観光地づくりを継続していく。

6 外部評価の意見等

1次評価のとおり。

7 2次評価の意見等

今後も名寄市観光振興計画に基づき、交流人口拡大の推進を図る。

8 施策を構成する事務事業

(1)H24年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H24決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	ピヤシリスキー場整備計画	ピヤシリスキー場の維持管理及び修繕・更新	52,714								
2	なよろ温泉整備計画	なよろ温泉サンピラーの維持管理及び修繕・更新	7,271								

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)